

今回も「セルフ・キャリアドック導入推進プロジェクト」活動についてご紹介します。

まずは、2年前のプロジェクト活動の立ち上げから現在も継続して実施している「①人づくり」活動。それは「セルフ・キャリアドックについて知りたい、やってみたいけど、どこで学べるの？」という会員ニーズに応える講座作りから始まりました。

当時、厚生労働省のセルフ・キャリアドック導入支援事業による「セルフ・キャリアドック導入の方針と展開」が発表され、14社のモデル企業の活動報告書も開示されました。同時に慶應大学SFCで花田先生の学びを開始しました。

実は先生との出会いは、まさにブランド・ハプスタンス・セオリーでしたが別の機会に譲り、導入助成金制度で企業導入実践の活動機会と現場経験も多く得ながら、大手社人事キャリアコンサルタントがメンバーに加わり独自の講座が完成です。

それが、神奈川支部開催「セルフ・キャリアドック実践キャリアコンサルタント育成講座」のベーシックコースとアドバンスコース。ベーシックは15回開催し約150名、アドバンスは9回で約100名の方々に受講頂きました。 <http://www.kanagawa-c.jp/> (募集中講座情報/一覧表示)

ベーシックコースではセルフ・キャリアドックの制度理解と基礎知識、キャリア面談のポイント解説とモデリングを実施し、またアドバンスコースでは実践知識と組織への提案、特に人事戦略やキャリアデザイン・ワークショップの実践を学びます。

実際にこの2コースが大変有益なのは、キャリア面談とキャリアデザイン・ワークショップの実践的なカリキュラムの一部を学習できるために、プロジェクト活動ではメンバー同士で共通のイメージと言語が使え、カリキュラムやツール作りもスムーズでした。

一方2コースのみでは実践スキルは大きく不足しているため、補強目的の「キャリア面談トレーニングコース」でのロールプレイや、b-active社【技能更新講習】での実践スキルの学習と練習など、活動を補強するプログラムも開発されました。

尚、9月に出版されました「セルフ・キャリアドック入門（高橋さん・増井さん著）」にも、学習機会として巻末の方に当該講座とb-active社をご紹介頂いております。今後も、セルフ・キャリアドックを普及させる力強いサポートとの想いです。

最後に、現在は全国大会で発表した大手通信会社を経験された1期生に加え、2期生が順次加わりながらトライアル2社目のIT企業を実施中。更に3社目を予定しており、まさにセルフ・キャリアドック実践インターンシップの場となりました。

次号は「②ツールづくり」について、より詳細な内容をお伝えします。どうぞ楽しみに。